

中心市街地活性化基本計画の 次期計画について

都市整備部まちづくり推進課
平成23年6月

1 . 中心市街地活性化基本計画（現行）

- テーマ 『門前都市「ながの」』
～心潤う 歴史と文化が賑わう まち～
- 期間 平成19年5月～平成24年3月(4年11ヶ月)
- 目標 訪れたいくなるまち
住みたいくなるまち
歩きたいくなるまち
参加したいくなるまち
- 事業 54事業(平成23年4月1日現在)
完了:10事業
実施中(ソフト事業):20事業
実施中(工事・設計等):13事業
調査・研究中:12事業



2 . 他都市の状況

- 平成24年3月末で計画が終了する市(12市)へ照会(H23年5月調査)

次期計画を策定する (予定含む)	5市	富山市、青森市、山口市、宮崎市、豊後高田市
今年度で計画終了	1市	府中市【広島県】
現在検討中 (国の方針待ち)	6市	久慈市、金沢市、岐阜市、高松市、八代市、熊本市

主な対応

- 策定すると回答した市の全てが、平成24年4月からを予定している。期間は未定
- 策定機関として、庁内調整会議及び活性化協議会を活用予定
- 今年度で終了する市では、平成24年度から条例策定を予定。公益施設や商業集積タイプ、ソフト支援タイプへの補助要綱を策定予定
- 検討中の市は、国の方針がでてから検討する市がほとんどだが、商店街及び商店主等と打合せを実施し、中活法又は地域商店街活性化法のどちらかの認定を受けるか、検討予定の市もある

3．長野市の対応（案）

国の動向をみながら、現在の計画を検証し、継続する方向の次期計画を策定

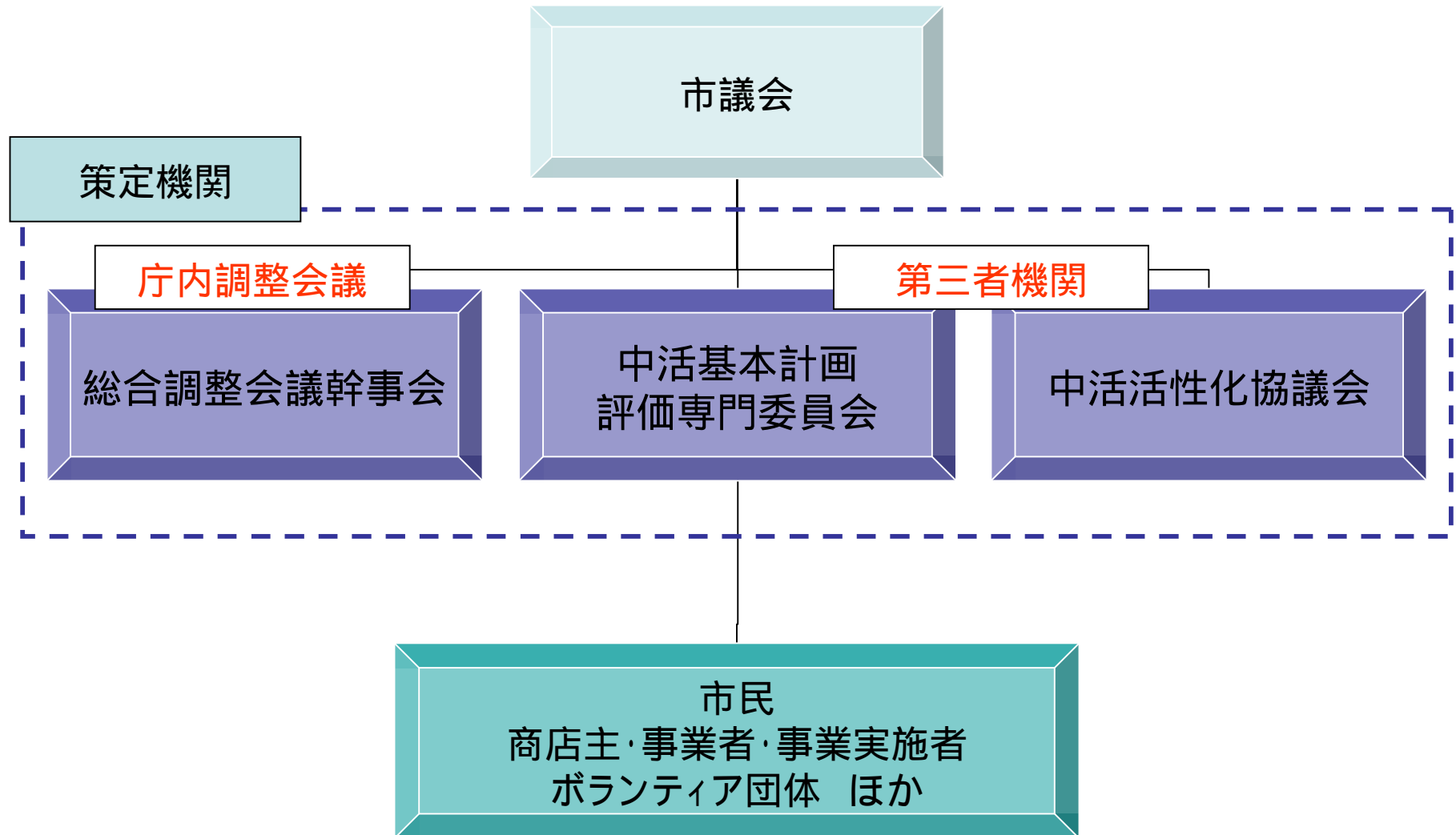
主な理由

- 現在の中活基本計画の主軸事業である「中央通り歩行者優先道路化事業」や「善光寺口顔づくり事業」が平成26年度事業完了を目指している。
- 「次期御開帳」「新幹線の金沢延伸」を見据え、進められている施策が多い。
- セントラルスクエア、後町小学校の後活用や権堂地区再生計画に位置づけられる事業など、具体的に事業化を進める必要がある。
- 第四次総合基本計画後期計画(H24～H28)でも中心市街地の活性化について盛り込まれている。
- 国が次期計画を認めた場合にもすぐに対応できる。また、引き続き、国の支援策を活用する場合、長野市の姿勢として計画が必要と思われる。

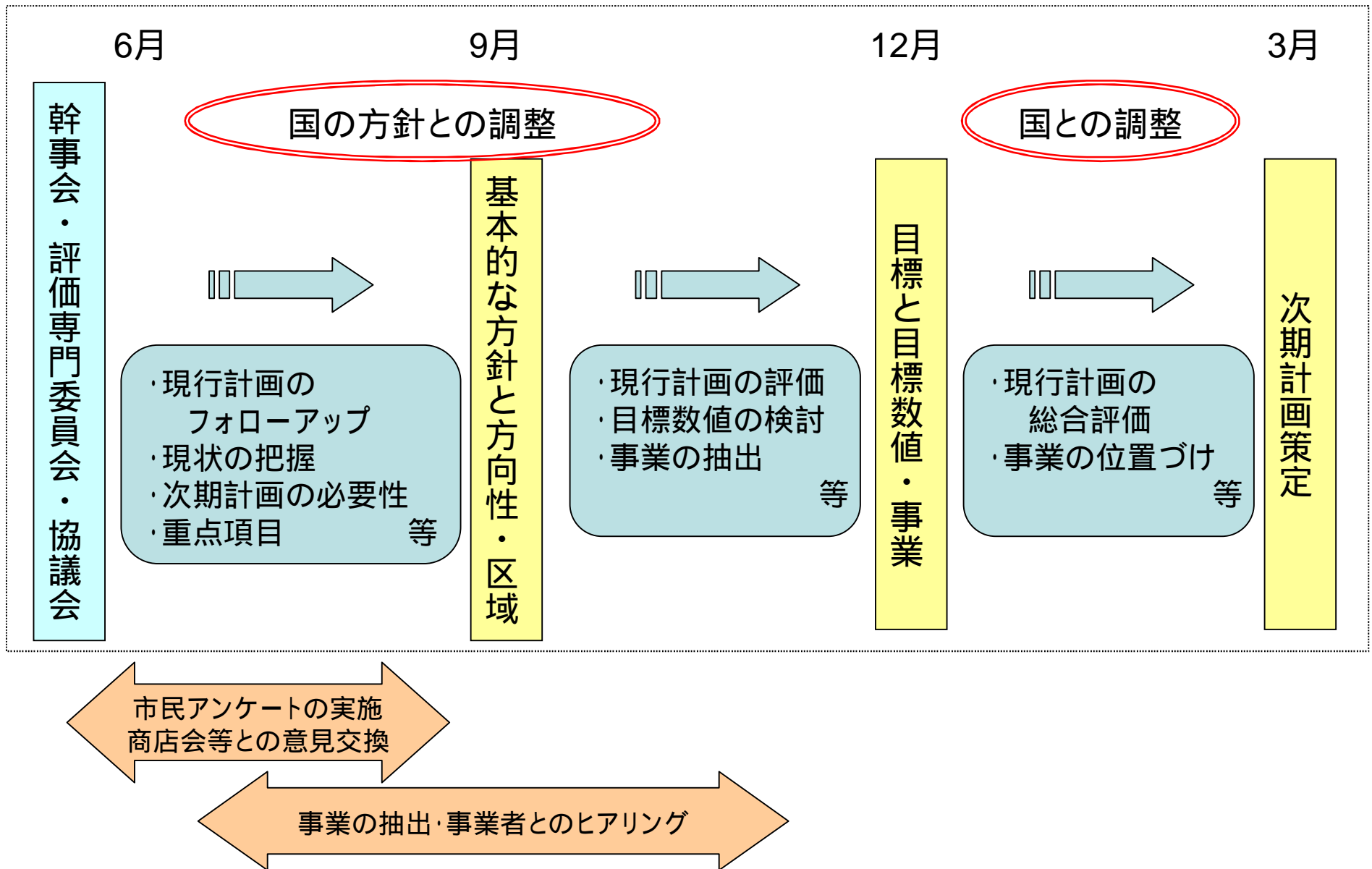
4 . 次期計画策定に向けて（基本コンセプト）

	現行計画	次期計画
テーマ・方針	「門前都市 ながの」 ～心潤う 歴史と文化が賑わう まち～	現行計画を継承
目標	訪れたいなるまち 住みたいなるまち 歩きたいなるまち 参加したいなるまち	現行計画を継承 ただし、数値目標は検討
計画期間	平成19年5月～平成24年3月 (4年11ヶ月)	平成24年4月～平成29年3月 (5ヵ年)
事業	・従前の基本計画の位置づけられた事業の見直し ・中活法に合致する事業の選定	・市民アンケートの実施 ・関係者ヒアリングの実施 ・現行計画のフォローアップ ・現行事業からの継続及び新規事業の追加

5 . 次期計画策定に向けて（組織体制）



6. 次期計画策定スケジュール（案）



7. 市民アンケートについて

調査の目的

まちづくりを進めていくための指針として策定する「中心市街地活性化基本計画(次期計画)」に、合併後の市民の新たな意見や提案を取り入れるための基礎資料とすることを目的として実施

調査方法

- 調査対象者 : 市内に居住する20歳以上の男女 約2,000人
- 抽出方法 : 無作為に抽出
ただし、第1地区から第5地区の対象者数を多くする
- 配付、回収方法 : 郵送配付・郵送回収
- 調査期間 : 平成23年7月中旬から2週間程度(平成23年7月末回収)

7. 市民アンケートについて

調査内容

属性（性別、年齢、居住地区、職業、居住年数）



中心市街地への来街目的（来街回数、交通手段、目的、滞在時間等）
（来街しない理由、普段の買い物等の方法等）

基本計画事業の認知度（知っているか、参加、利用したか等）

- ・ 中央通り歩行者優先道路化事業
- ・ 善光寺表参道東町駐車場整備事業
- ・ 共通駐車券事業
- ・ 善光寺表参道七めぐり事業
- ・ もんぜんぶら座活用事業
- ・ 長野灯明まつり開催事業
- ・ 長野駅善光寺口顔づくり事業
- ・ 善光寺周辺地区街なみ環境整備事業
- ・ まちなか花とイルミネーション事業
- ・ ぱていお大門運営事業
- ・ トイゴ活用事業
- ・ 祭り・イベント等開催事業

7. 市民アンケートについて

調査内容

中心市街地における機能や事業等の満足度及び将来的に見た重要度(必要性)

満足度「思う」から「思わない」

重要度「重要である」から「重要でない」

5段階で評価

- ・目標 主に観光に関する質問
- ・目標 主に居住環境に関する質問
- ・目標 主に交通、商業に関する質問
- ・目標 主に市民活動に関する質問



認定前(H18年度)との比較(評価)

5年前と比べて、中心市街地の魅力がどうなったか 5段階で評価

7. 市民アンケートについて

満足度及び将来的に見た重要度（必要性）

目標 訪れたいまち 主に観光に関する質問
善光寺門前町として個性と魅力がある
歴史的資源や文化、食を味わうなどの体験、体感ができる
街並みがきれいで歴史を感じる
バス路線や歩行者用の案内がわかりやすく、まちなかの移動がしやすい

目標 住みたいまち 主に居住環境に関する質問
花や緑に彩られた快適な街である
生活するのに便利である
医療・福祉施設が充実している
教育・文化施設が充実している
食料品・日用品等の買い物が便利
衣料品・ブランド品等の買い物が便利
住みやすい街である
中心市街地に住んでみたい

7. 市民アンケートについて 満足度及び将来的に見た重要度（必要性）

目標 歩きたくなるまち 主に交通・商業に関する質問
魅力的な店舗がある
商業者・事業者が協力して活性化に取り組んでいる
共通駐車券、子育て支援などのサービスが受けられる
定期的にイベントが開催され、楽しい時間を過ごせる
バスや鉄道で出かけるのに便利
自家用車で出かけるのに便利
自転車を利用しやすい
歩きやすい
高齢者・障害者・ファミリー層等にとって安全、安心である

目標 参加したくなるまち 主に市民活動に関する質問
人が集まり交流できる場がある
子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめる場がある
NPOや市民団体などが協力し、活発にイベントや文化活動を行っている